



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号 3階 電話(098)869-8711

各 位

株式会社 おきぎん 経済研究所

おきぎん県内景況・速報（2026年8月分）

◎ 県内景況は、拡大基調にある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回

る。百貨店売上高は前年同月を下回る。

新車販売台数は前年同月を下回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下

回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルと

ともに前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収

入(推計値)は前年同月を下回る。

☆ 企業倒産：倒産件数・負債総額はともに前年同月を上回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：上門、小嶺、永田 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2026 年 8 月分)



概況：県内景況は、拡大基調にある。

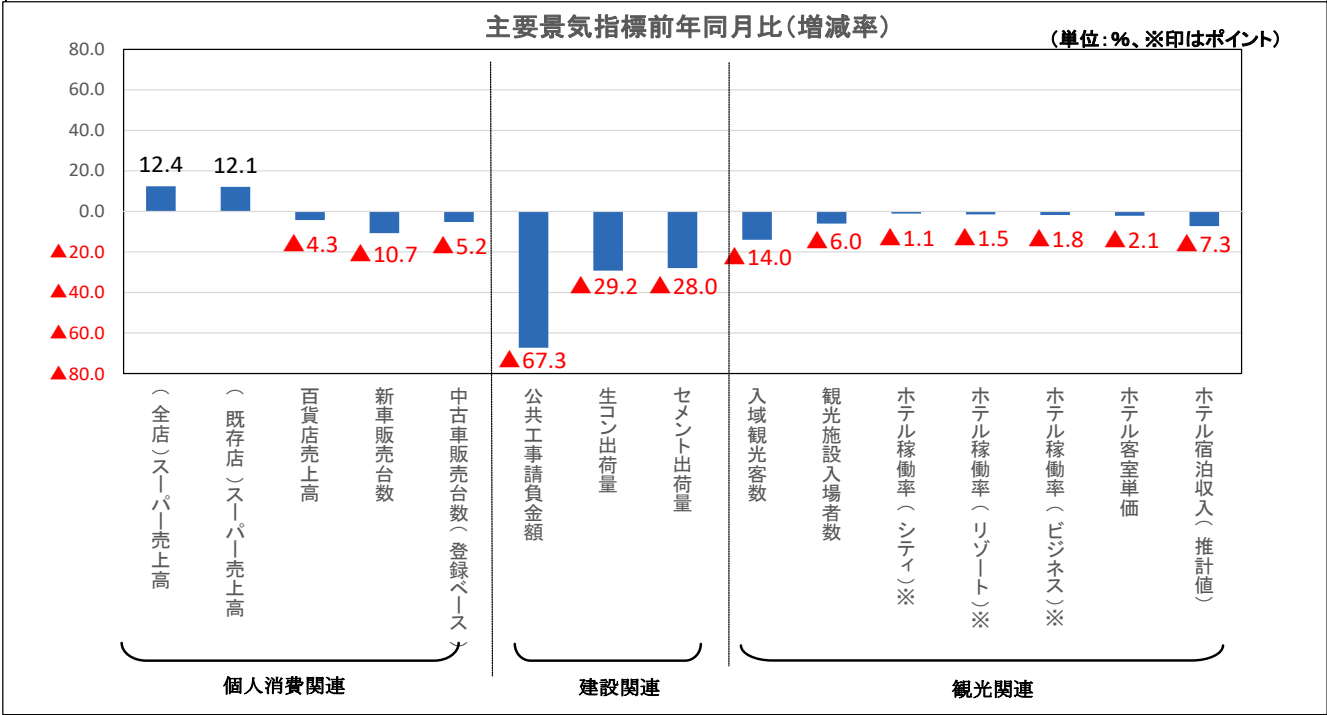
8月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月を下回りました。耐久消費財である新車販売台数、中古車販売台数はともに前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を下回りました。

観光関連では、台風の影響等により入域観光客数は前年同月を下回り、観光施設入場者数も前年同月を下回りました。ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルともに前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入(推計値)は前年同月を下回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は、拡大基調を維持しているものの、一部に停滞感がみられます。建設は、弱含んでいます。観光関連は、拡大しています。よって、「県内景況は、拡大基調にある」と景気判断を据え置きました。

(2024 年 10 月の上方修正から 23 か月連続で判断維持)

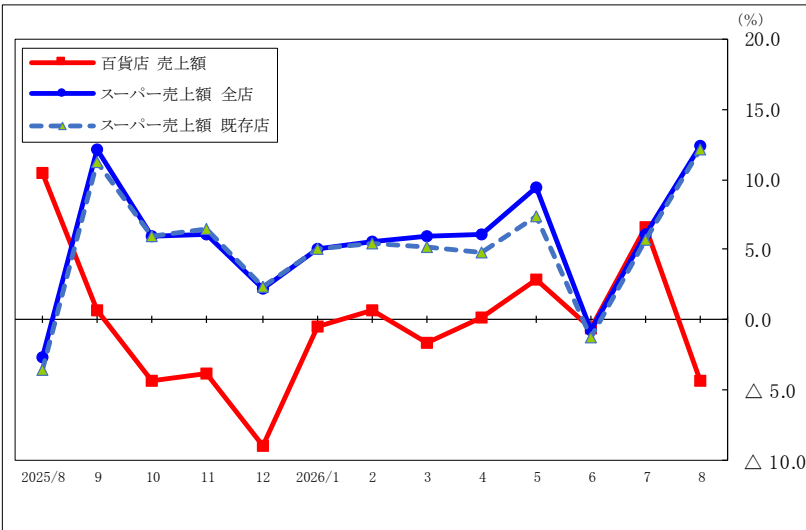




■個人消費：（やや良い）

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を下回る。

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2025/8	△ 2.7	△ 3.6	10.5
9	12.1	11.3	0.7
10	6.0	5.9	△ 4.3
11	6.1	6.5	△ 3.9
12	2.2	2.4	△ 9.0
2026/1	5.1	5.0	△ 0.5
2	5.6	5.4	0.7
3	6.0	5.2	△ 1.7
4	6.1	4.8	0.1
5	9.4	7.4	2.8
6	△ 0.8	△ 1.3	△ 0.6
7	6.1	5.7	6.6
8	12.4	12.1	△ 4.3



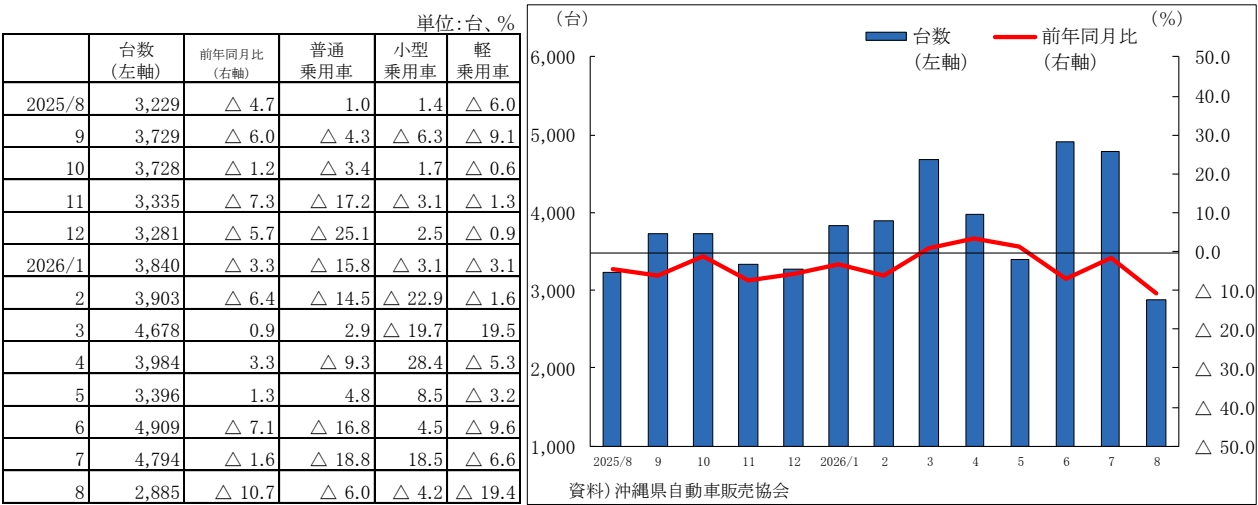
注) 前年同月比

8月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 12.4%増)」は、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 14.1%増)」は、旧盆時期がずれ込んだこと(前年:9月、今年:8月)などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 0.4%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 10.0%増)」は、県の省エネ施策の影響などにより前年同月を上回りました。

「既存店ベース(同 12.1%増)」は、2ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 13.9%増)」は、旧盆時期がずれ込んだことなどにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 0.3%増)」は、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 8.9%増)」は、県の省エネ施策の影響などにより前年同月を上回りました。

百貨店売上高(同 4.3%減)は、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。品目別では、「衣料品(同 13.6%減)」は、台風接近に伴う臨時休業などにより前年同月を下回りました。「雑貨(同 10.4%減)」、「身の回り品(同 3.5%減)」は、中国からの訪日客減少による免税売り上げの減少などにより、前年同月を下回りました。「食料品(同 4.1%増)」は、催事企画の実施などにより前年同月を上回りました。「食堂喫茶(同 10.1%増)」は、新店舗開店による客数増加などにより前年同月を上回りました。

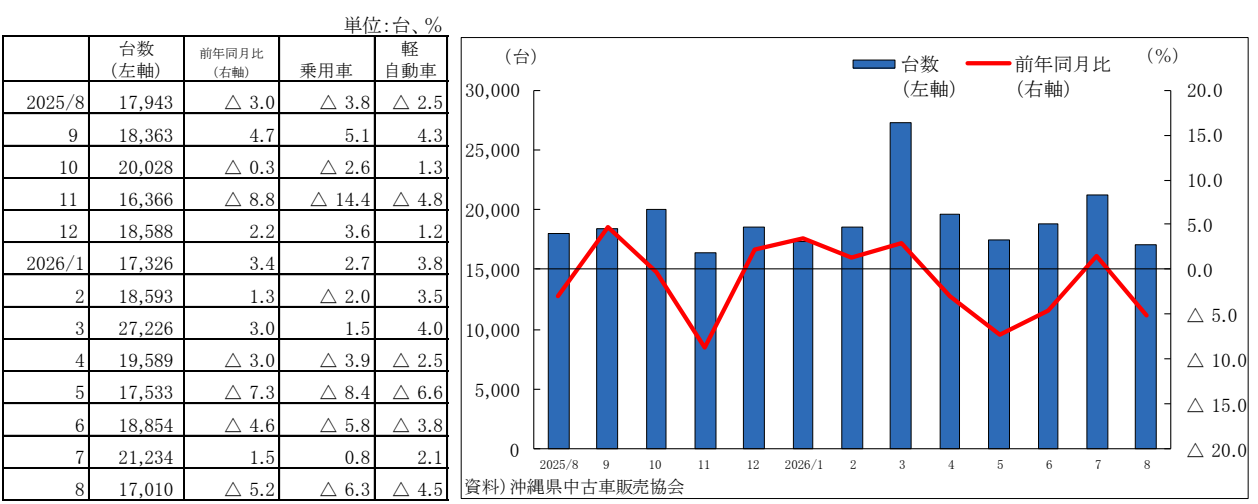
② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を下回る。



注) 前年同月比
 注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

新車販売台数は、全体で 2,885 台(同 10.7%減)となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「普通乗用車(同 6.0%減)」、「小型乗用車(同 4.2%減)」、「軽乗用車(同 19.4%減)」は、ともに前年同月を下回りました。

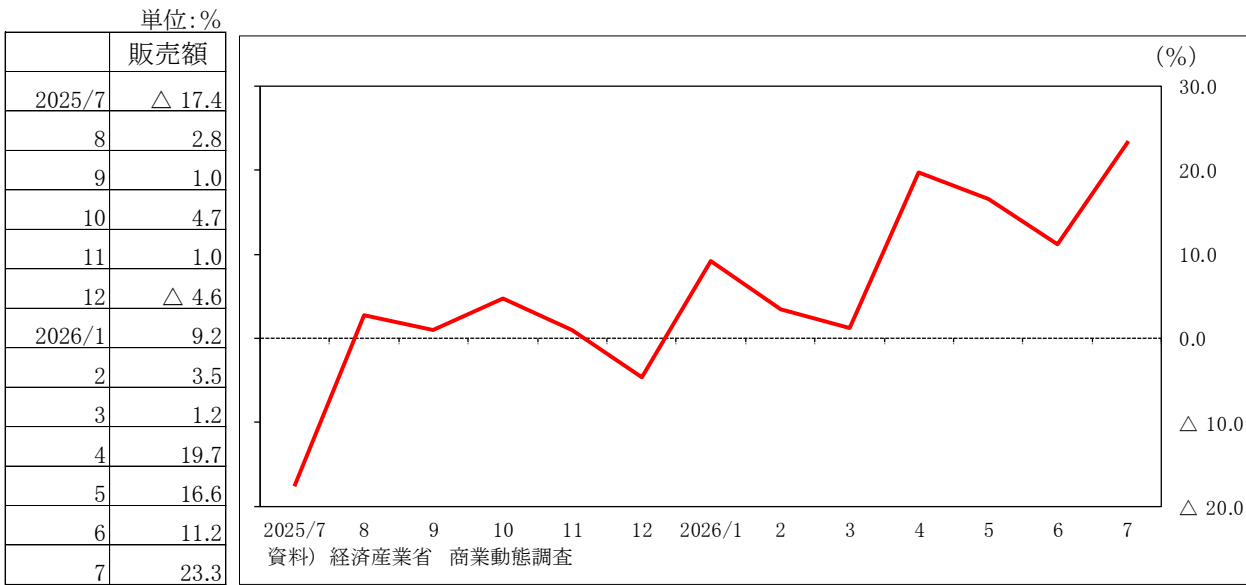
③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。



注) 前年同月比
 注) 登録ベース

中古車販売台数(登録ベース)は、全体で 17,010 台(同 5.2%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同 6.3%減)」、「軽自動車(同 4.5%減)」は、ともに前年同月を下回りました。

④ 【参考：7月】大型家電専門店販売額…販売額は前年同月を上回る。



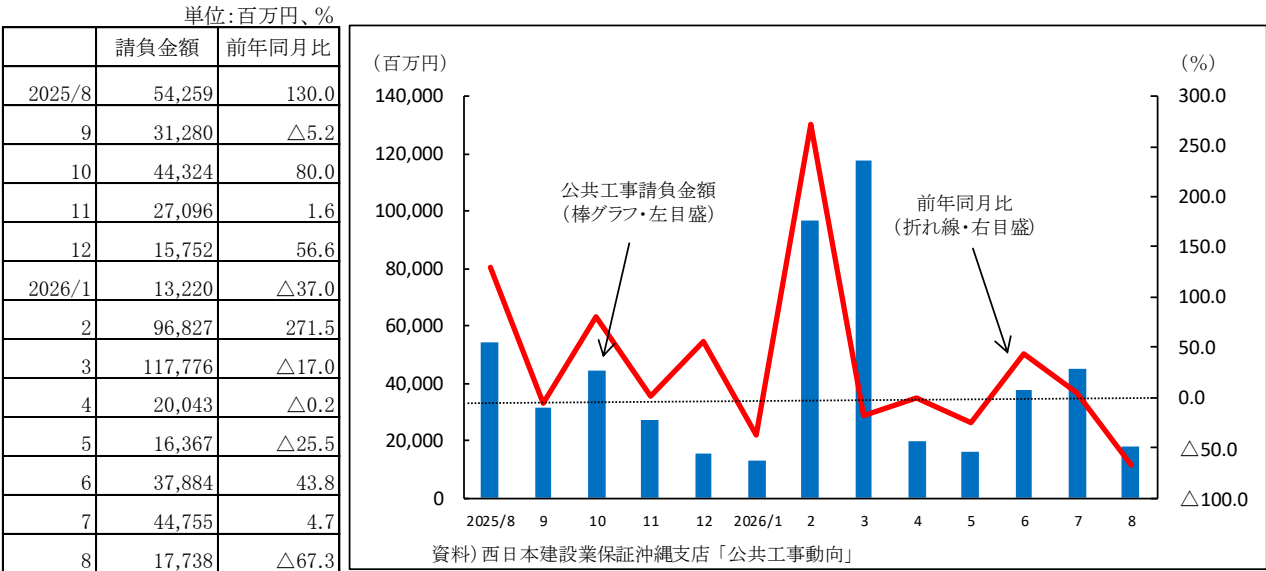
注) 前年同月比

大型家電専門店販売額は前年同月を上回りました。

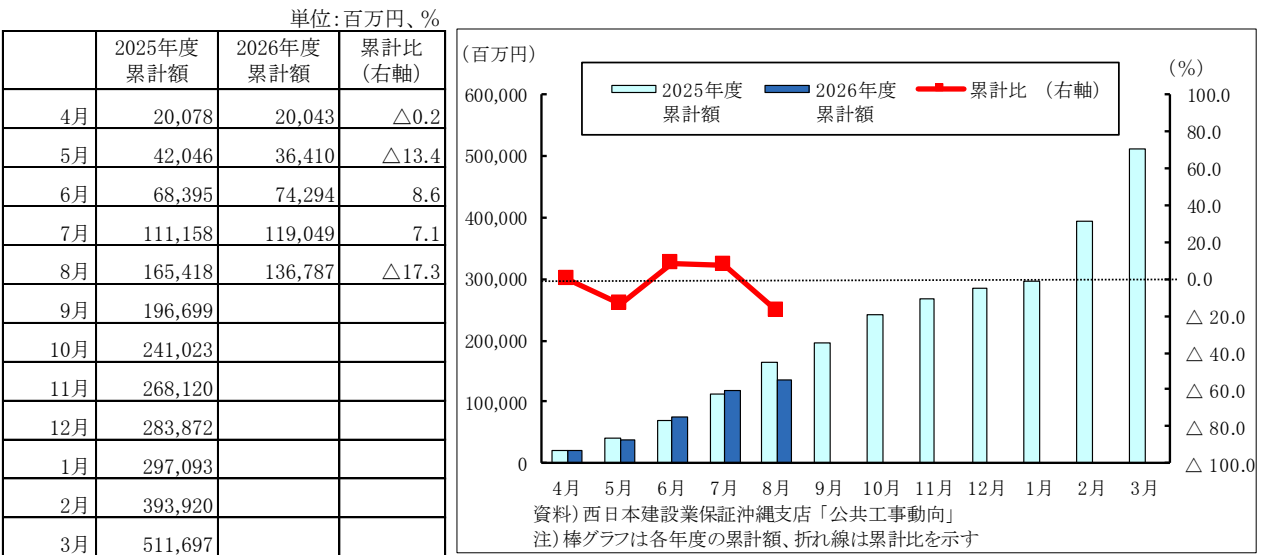


■建設関連： (ふつう)

① 公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。

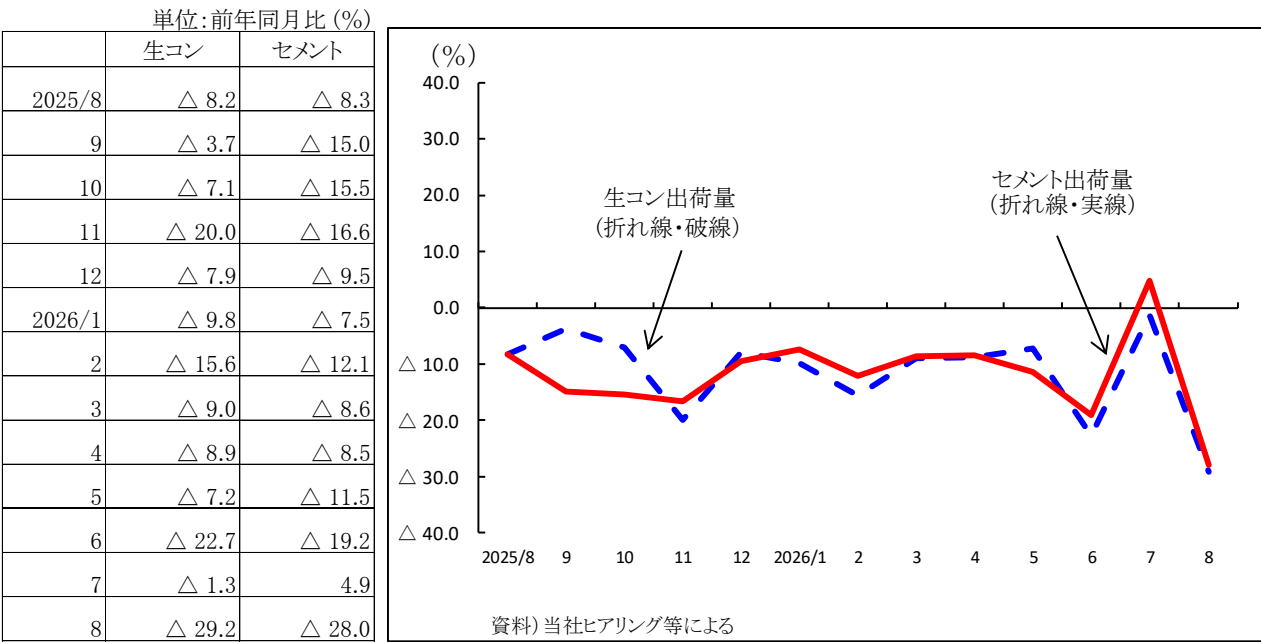


② 公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



8月の公共工事請負金額は、前年同月比 67.3%減の 177 億 3,800 万円となりました。
発注者別でみると、「国(同 94.0%減)」、「沖縄県(同 32.3%減)」、「その他公共的団体(同 40.4%減)」
は前年同月を下回りました。一方で「市町村(同 13.5%増)」は前年同月を上回りました。

③ 建設資材・・・生コン出荷量・セメント出荷量はともに前年同月を下回る。

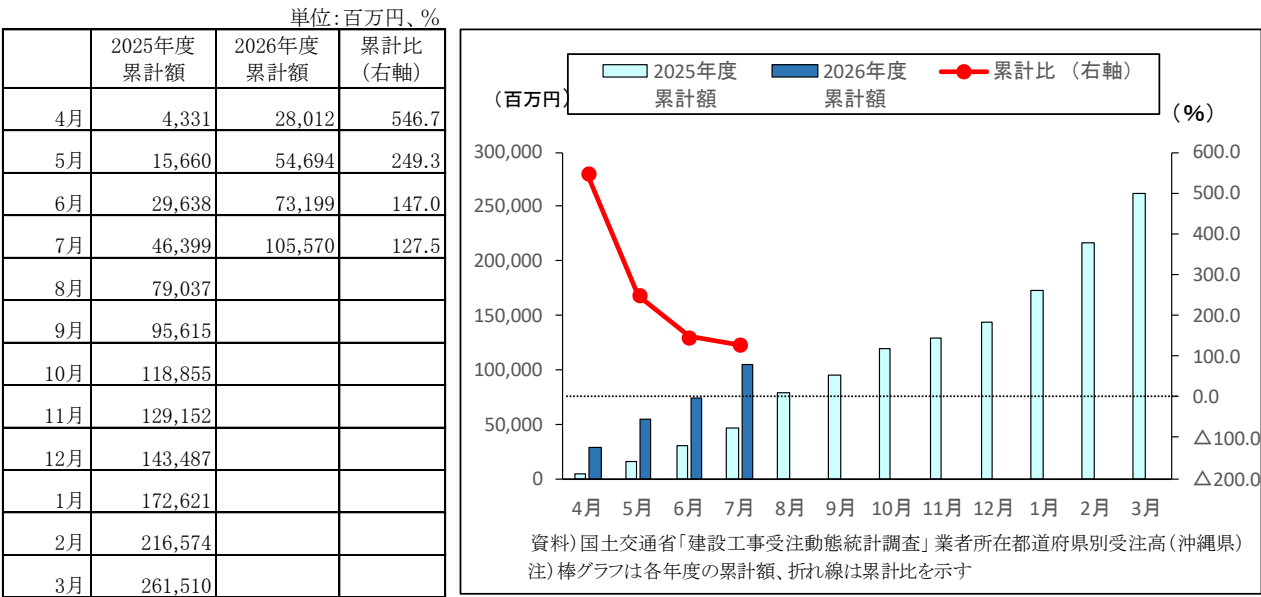


(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、生コンの出荷量は前年同月比 29.2%減となりました。内訳をみると、民間工事向け(同 28.0%減)は、北部地区、中南部地区、石垣地区は減少しましたが、宮古島地区は増加しました。公共工事向け(同 31.5%減)は、北部地区、中南部地区、石垣地区、宮古島地区のすべての地域で減少しました。

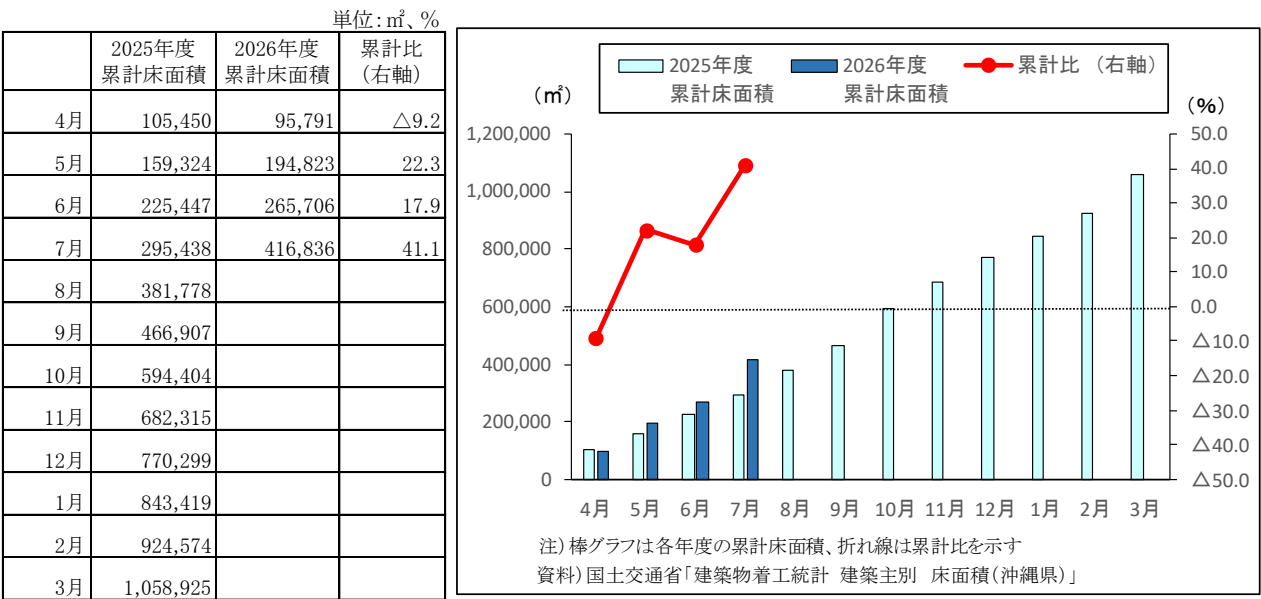
セメントの出荷量は 28.0%減と前年同月を下回りました。

④ 【参考：7月】民間等元請受注高（年度累計）…前年同期を上回る。



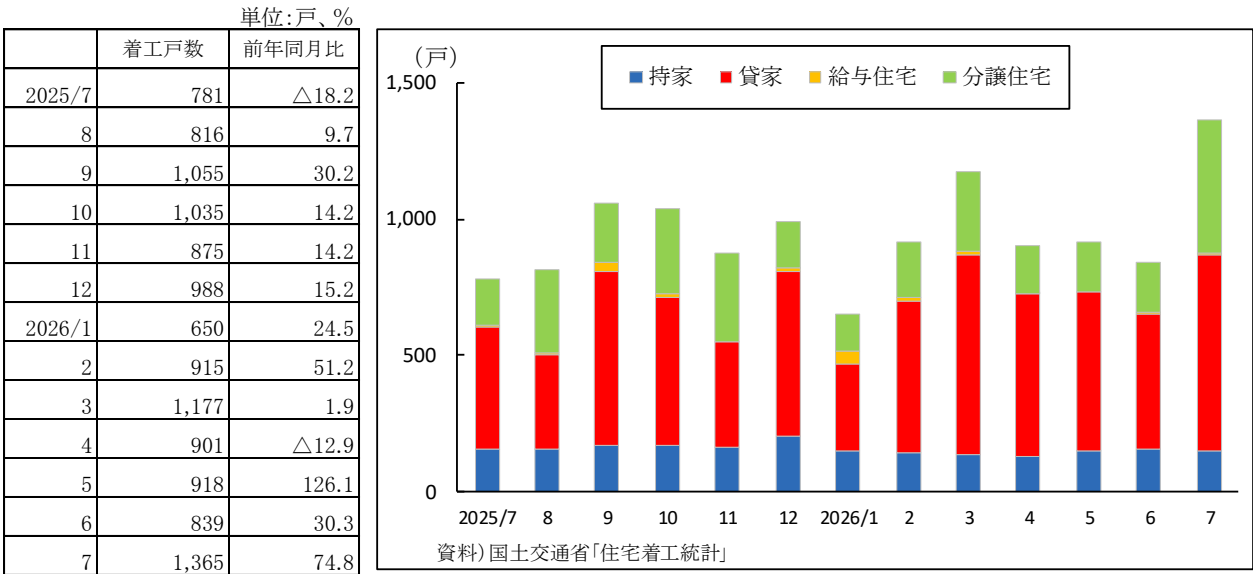
2026 年度累計値では、127.5%増となっています。

⑤ 【参考：7月】民間着工建築物床面積（年度累計）…民間（会社+個人）着工建築物の累計床面積は前年同期を上回る。



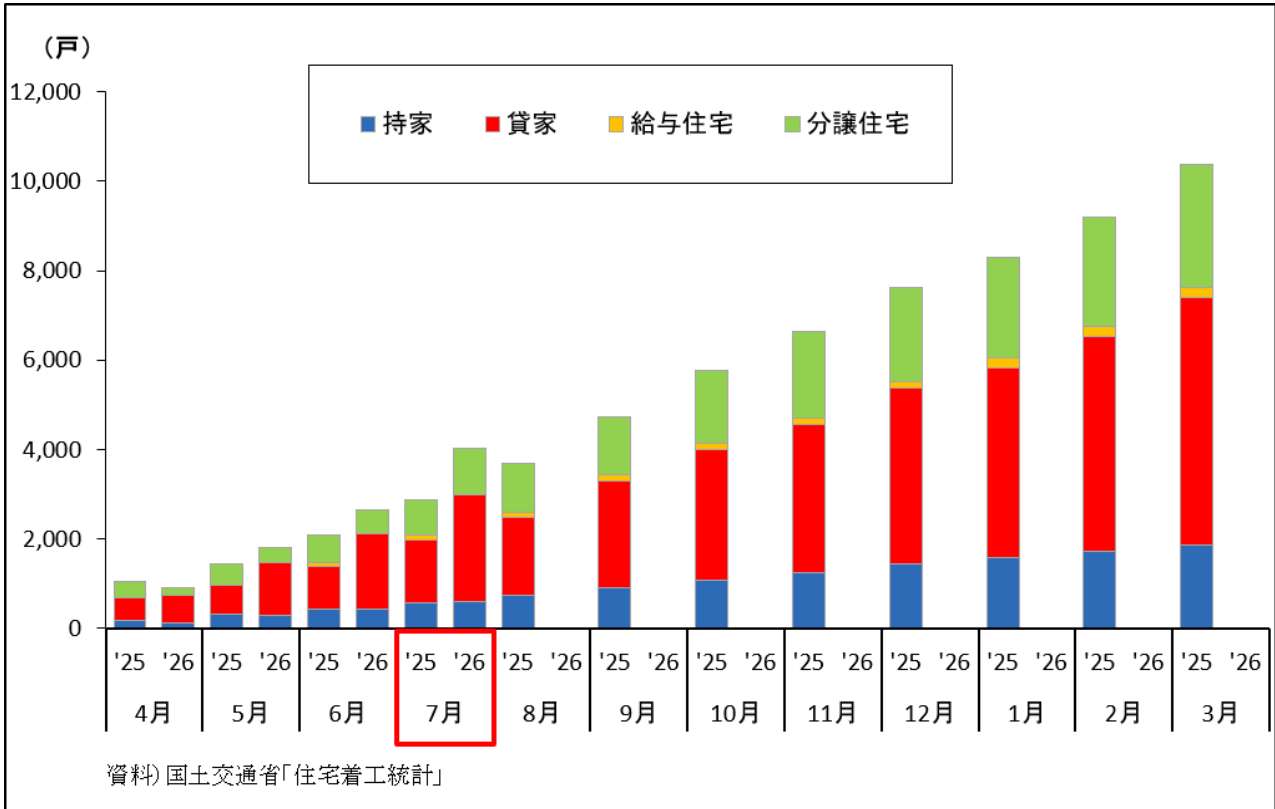
2026 年度累計値では、41.1%増となっています。

⑥ 【参考：7月】住宅投資・・・着工戸数は前年同月を上回る。



7月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比74.8%増の1,365戸となり、前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、「貸家(同59.8%増)」、「分譲住宅(同189.4%増)」は前年同月を上回りました。一方で「持家(同3.9%減)」、「給与住宅(同60.0%減)」は前年同月を下回りました。

⑦ 【参考：7月】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を上回る。

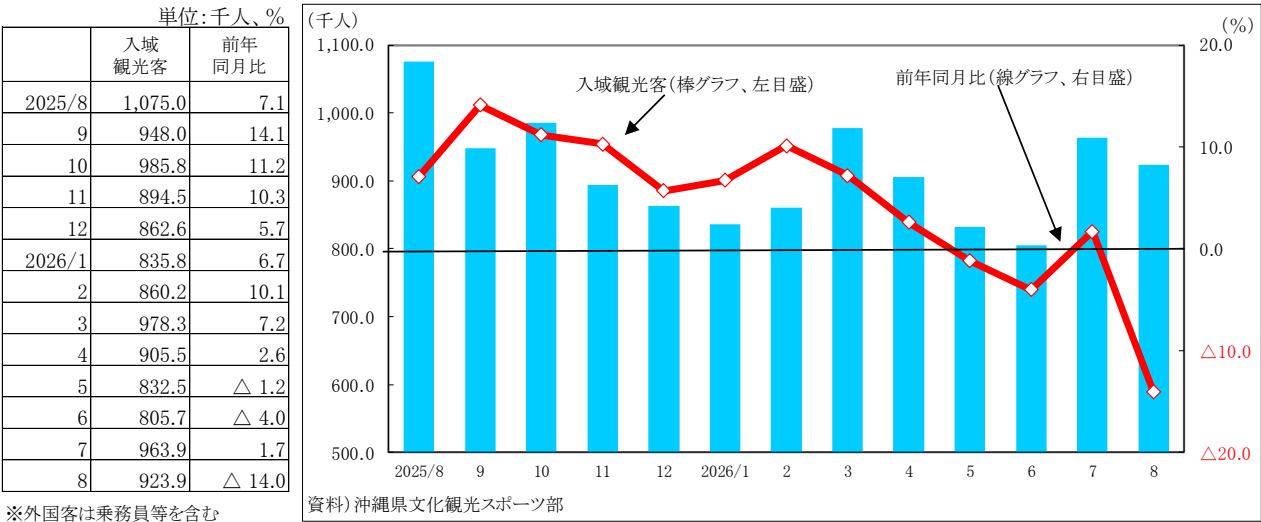


2026年度累計値では、前年比27.5%増となっています。

■観光関連：

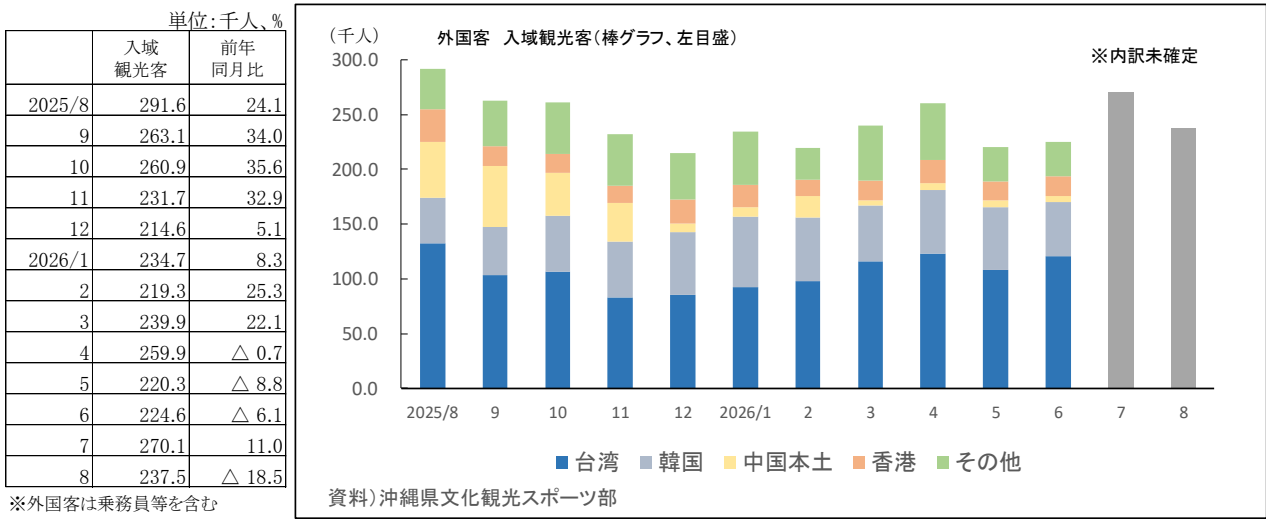
(良い)

① 入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を下回る。



※外国客は乗務員等を含む

外国客入域観光客数・・・前年同月を下回る。



※外国客は乗務員等を含む

※前年同月比はグラフへの反映はなし。

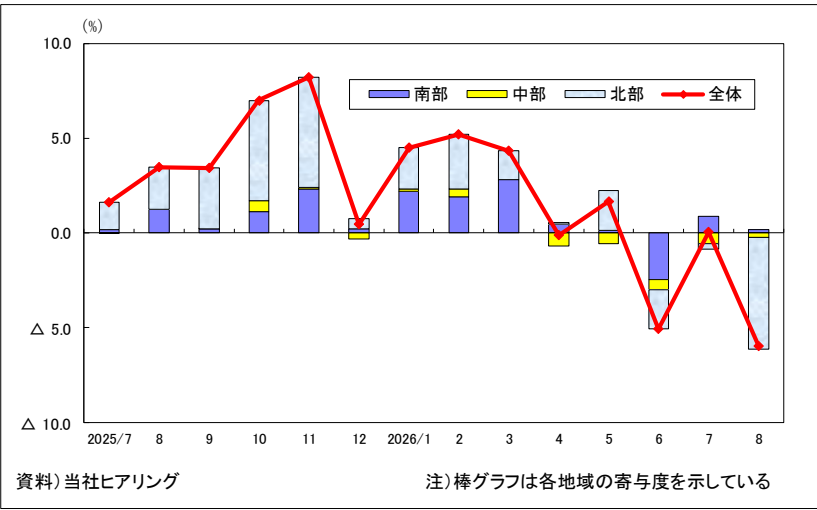
8月の入域観光客数は、台風13号と台風18号の接近に伴う影響などにより、923,900人(前年同月比14.0%減)となり、2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

外国人観光客は237,500人(同18.5%減)となり前年同月を下回りました。内訳は、空路191,800人(同5.0%減)、海路45,700人(同48.9%減)となりました。

② 観光施設入場者数・・・前年同月を下回る。

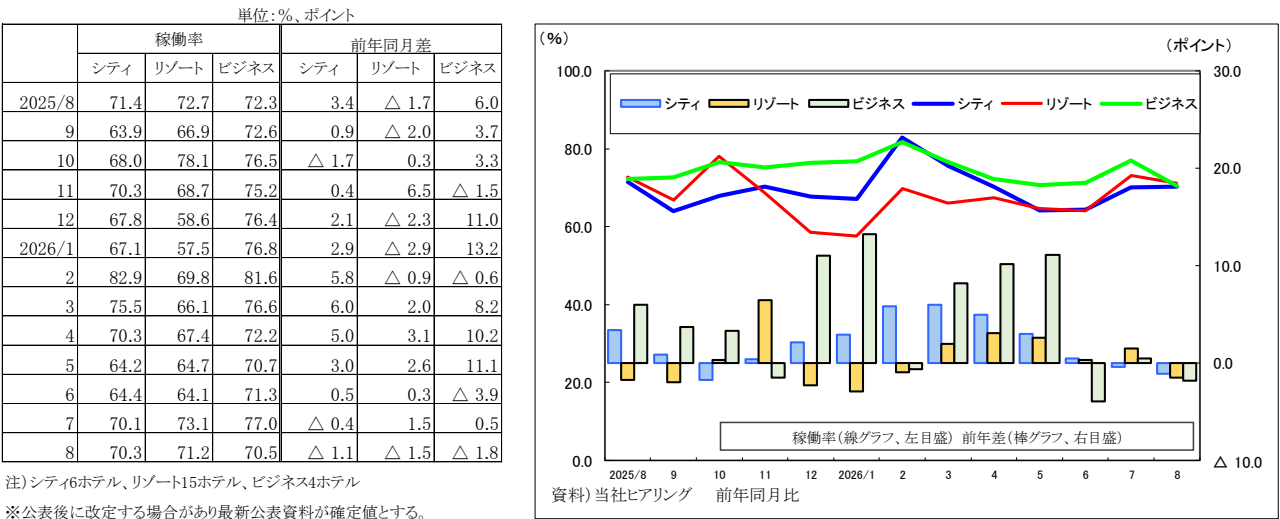
	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2025/8	3.3	3.2	0.2	3.8
9	3.4	0.6	0.1	5.7
10	7.0	3.0	6.9	9.9
11	8.2	5.2	1.2	12.3
12	0.5	0.6	△ 3.0	1.1
2026/1	4.5	5.5	1.3	4.4
2	5.2	4.8	4.8	5.6
3	4.3	7.3	0.0	2.9
4	△ 0.1	1.2	△ 8.5	0.2
5	1.0	△ 1.4	△ 7.3	4.1
6	△ 5.0	△ 5.8	△ 7.3	△ 4.0
7	0.0	2.6	△ 8.9	△ 0.5
8	△ 6.0	0.5	△ 2.9	△ 10.1

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



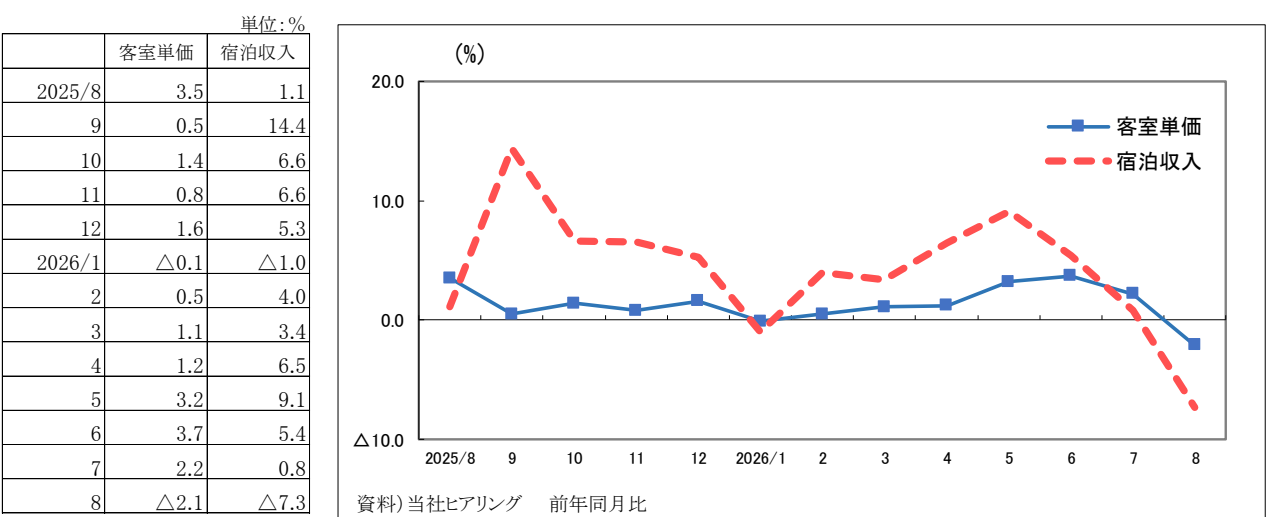
8月の観光施設入場者数は、6.0%減と2か月ぶりに前年同月を下回りました。地域別でみると、南部の観光施設は0.5%増、中部は2.9%減、北部は10.1%減となりました。

③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルは前年同月を下回る。



県内ホテル稼働率は、シティホテルは前年同月比 1.1 ポイント減少、リゾートホテルは 1.5 ポイント減少、ビジネスホテルは 1.8 ポイント減少しました。

④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を下回り、宿泊収入は前年同月を下回る。



※対象施設数: 21施設 (シティ6、リゾート15)、ビジネスは除く
※客室単価は21施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額 (稼働率及び客室単価より当社推計)
※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。

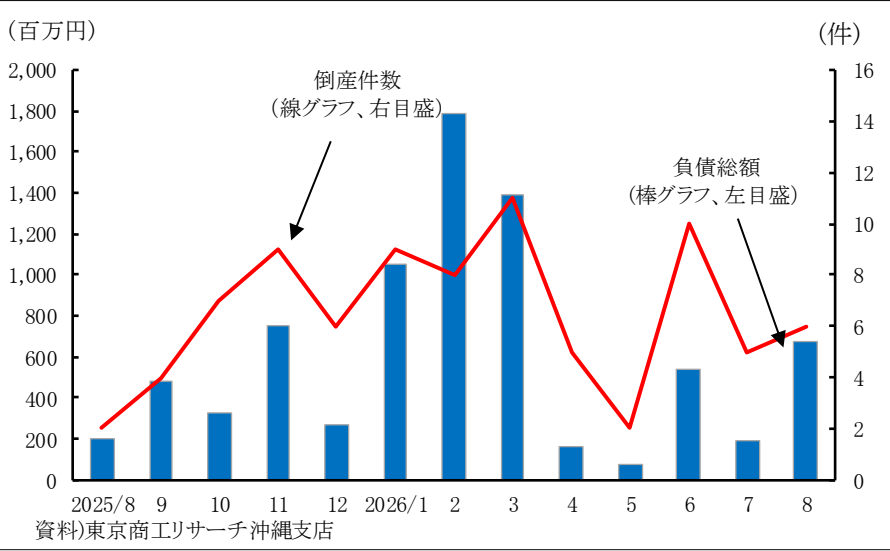
ホテル客室単価 (シティ&リゾート) は 2.1% 減と 7ヵ月ぶりに前年同月を下回り、宿泊収入 は 7.3% 減と 7ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

■企業倒産： (ふつう)

① 企業倒産・・・件数・負債総額ともに前年同月を上回る

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2025/8	200	2
9	483	4
10	328	7
11	755	9
12	265	6
2026/1	1,049	9
2	1,792	8
3	1,390	11
4	161	5
5	76	2
6	536	10
7	194	5
8	680	6



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

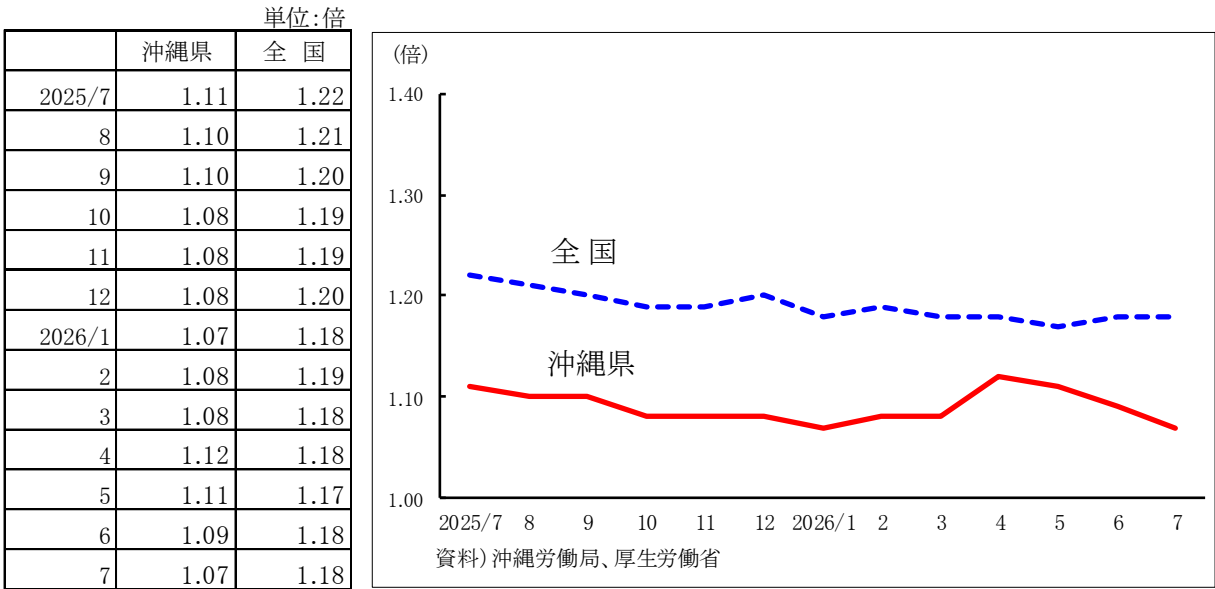
8月の企業倒産件数は6件(うち1億円以上 10 億円未満の大口倒産発生2件)となり、前年同月より200.0%増加しました。

負債総額は6億 8,000 万円となり、前年同月より 240.0%増加しました。



■雇用関連： (やや良い)

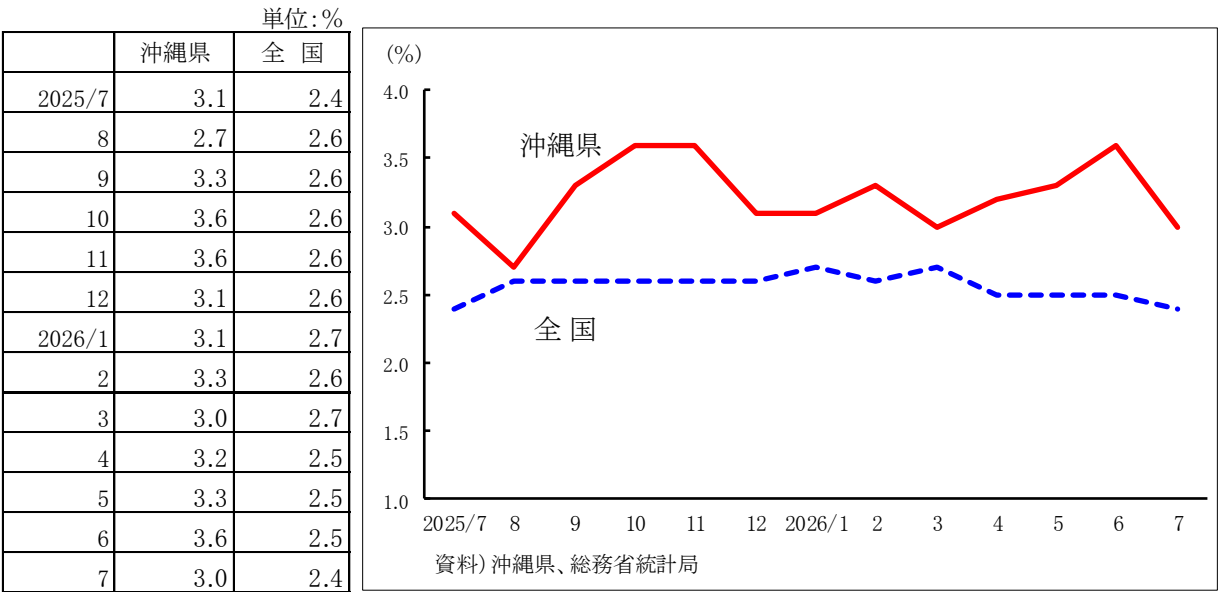
① 【参考：7月】有効求人倍率・・・沖縄は前月より低下し、全国は前月と同水準



注) 季節調整済
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

7月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比 2.8%減の 27,917 人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比 0.8%減の 26,135 人となり、有効求人倍率(季節調整値)は 1.07 倍と、前月より 0.02 ポイント低下しました。

② 【参考：7月】完全失業率・・・沖縄・全国ともに前月より低下



注) 季節調整済

7月の完全失業率(季節調整値) は 3.0%となり、前月より 0.6 ポイント低下しました。